

チャペル週報

疲れた者、重荷を負う者は、だれでも
わたしのもとに来なさい。休ませてあげよう。

(マタイによる福音書11:28)



2010.7.12~7.15 No.14
関西学院宗教センター

☆チャペル・スケジュール☆

時間 10:35～11:05 場所 各学部チャペル

7月12日(月) 神 阪 口 新(神4)
経 樋 口 進(宗教センター宗教主事)
人 芝 野 松次郎(人間福祉学部教授・学部長)
短大 聖書物語

7月13日(火) 神 李 禎 善(D3)
文 春学期終了チャペルパーティ
社 チャペル・ギター・コンサート クラシック・ギター部有志
法 Christian Morimoto Hermansen(宣教師)
商 山 本 俊 正(宗教主事)
国 平 林 孝 裕(宗教主事)
教 芝 田 正 夫(教育学部教授・学部長)
総 眞壽田 順 啓(総合政策学部教授)

7月14日(水) 神 向 井 考 史(神学部教授)
社 チャペル・メデイテーション 打 樋 啓 史(宗教主事)
法 English Chapel Christian Morimoto Hermansen(宣教師)
経 村 田 治(経済学部教授・学部長)
商 ダニエル・デルミン(高等部教諭・宣教師)
人 嶺 重 淑(宗教主事)
教 谷 口 あづさ(幼4)
理 春学期最終礼拝
総 中 條 道 雄(総合政策学部教授)

7月15日(木) 神 ミニコンサート“Big Street”合同チャペル(中央講堂)
文 ミニコンサート“Big Street”合同チャペル(中央講堂)
社 学期末にあたって 宮 原 浩二郎(社会学部教授・学部長)
法 ミニコンサート“Big Street”合同チャペル(中央講堂)
商 ミニコンサート“Big Street”合同チャペル(中央講堂)
国 ミニコンサート“Big Street”合同チャペル(中央講堂)
総 村 瀬 義 史(宗教主事)
短大 聖和JAZZ礼拝 竹 中 真(パークリー音楽大学教授)

◇総合政策学部早天祈祷会 毎木曜日 午前8:40～

於：宗教主事室

キャンパスライフ ～夏休みの過ごし方～

細川正義

私は大学を卒業してすでに40年近く経過している。しかし、大学時代の生活は妙に生々しく記憶している。入学直後の中央芝生での友人たちとの語りから、大学紛争のさなか自分たちが今何をなすべきかを必死で語り合ったクラス討論のとき、考えることに倦んで数名の友人とぶらりと旅した北海道で眼にした風景、毎夏に行った書道部の合宿での猛練習と友人と抜け出して夜を徹して人生を語り合った記憶、総て懐かしい思い出と、その総てにああすればもっとよかったと思う悔恨の思い。「されどわれらが日々」(柴田翔)「青春の蹉跎」(石川達三)などに自己投影させながら夢中で読んだ記憶も懐かしい。

その学生時代の記憶の中でも「夏休み」のことは更に鮮明に記憶している。下宿生活だった私がはじめてアルバイトを経験したのも1年生の夏休みだった。級友の兄が所長のダンボール会社で過ごした1ヶ月は初めての社会体験であり、初めての給料だった。毎日ダンボールの大きな束を運ぶ重労働だったが、我慢を重ねて乗り越えたこと、思いがけない様々な人間関係を経験して感動することもしばしばあったこと、今はこのひと夏の体験が自分の青春の方向を定めたとさえ思っている。2年生からの夏休みは百貨店の筆耕のアルバイトに専念した。アルバイトをして手にした給料で旅をする、それがメインの学生時代の「夏休み」だったが、年としての「夏休み」が自己形成の大きな栄養源であったことは確信している。しかしここでも不完全燃焼の悔恨はついてくる。

その第一は、恐らく「夏休み」の時間のなかに「大学」と自分のつながりを生活化し確認する認識が不足していたことにあると思う。今、「夏休み」を過ごす学生を見守る立場に立つようになって、そのことを強く思うようになっていく。開放感「大学」の束縛からも離れてと考えた要素が多かったように今は振り返っている。キャンパスに戻り、図書館で過ごす時間をもっと大事にすればよかった、学ぶことと考えることにもっと時間を割くべきだったと後悔している。

学生たちに勧めたいのは、「夏休み」だからできる自己探求を「学生」である特権と責任をしっかりと自覚して有意義に過ごしてほしいことである。

(文学部教授・副学長)

●2010年度大学主催春季人権問題講演会

総合テーマ：Culture of Human Rights－人権文化を育む

日 時：7月15日(木)16:50～18:20

場 所：神戸三田キャンパス II号館201号教室

講 師：和氣邦夫氏（関西学院大学総合政策学部客員教授）

題 目：「子どもの権利を守るのは私たちの義務：

『子どもの権利条約』を实行しよう」

手話通訳、パソコンテイク、ビデオ撮影を予定

●関西学院チャペル・オルガニスト秋の発表会

各学部のチャペルで奏楽を担当するチャペルオルガニストはじめレッスン生たち36人が練習の成果を披露します。パイプオルガンに関心のある方、そしてランバス記念礼拝堂に入ったことのない方もお気軽にお越しください。演奏中以外は入退場自由です。

と き：10月2日（土）10時～16時（途中昼休憩あり）

ところ：ランバス記念礼拝堂（上ヶ原）

指導者：高橋明子、太宰まり

主 催：吉岡記念館事務室宗教センター

●ランバスチャペルアワー

学部の枠を超えて集まった学生主体のチャペルがランバスチャペルアワーです。秋学期の予定は以下のとおりです。

10月26日（火）

11月30日（火）

いずれもランバス記念礼拝堂（西宮上ヶ原キャンパス）にて10:35～11:05

●CD・DVDライブラリー

吉岡記念館事務室宗教センターには、教会音楽、キリスト教に関するCDやDVDを備えています。本学学生及び教職員（学生証または身分証明書必要）であればどなたでも利用できますので、希望者は事務室までお越しください。

●使用済み切手収集にご協力ください

本学では日本キリスト教海外医療協力会（JOCS）切手部の活動に協力し、使用済み切手の収集をしています。通常切手も対象としていますのでどうぞ吉岡記念館常設の回収箱にお届けください。

春学期の「チャペル週報」は本号が最終号となります。授業期間中毎週月曜日発行の本紙には、各学部のスケジュールほか、教職員によるエッセイなどを掲載しています。この欄は執筆者のお人柄や読者へのメッセージに触れることが出来る場です。各学部のチャペルとともに、あなたの心に何かを残すことができれば幸いです。

秋学期の発行は9月20日(月)からです。よい夏休みを！